

「Connected Industries推進のための協調領域データ 共有・AIシステム開発促進事業／ 米国政府のCDM Programを参考にした常時診断システ ムの実現性調査」 公募説明資料

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

IoT推進部

1. 事業概要		3
2. 委託作業内容		5
3. 検証作業の要件		12
4. 委託費用の見積りについて		14
5. 応募方法		15
6. スケジュール		18
7. 提案にあたっての留意事項		19

◆背景

セキュリティ脅威の多様化

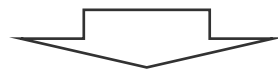
- ・サイバー攻撃の高度化、多様化
- ・内部不正

クラウドサービスの利用拡大

- ・クラウドシステムの利用
- ・データのクラウド保管

働き方の変化

- ・リモートワーク
- ・利用端末の多様化



従来から行っていた境界防御やインシデントレスポンス体制では不十分

ゼロトラストの概念に基づいた**新たなセキュリティ対策**が必要



「すべてのトラフィックを信頼しないことを前提とし、検査、ログ取得を行う」という考え方に基づき

どのようなデバイス から、**誰** が、**どのように** アクセスしているかを

継続的に監視するとともに常時診断を行い、

リスクの可視化・診断、是正・緩和策の検討を行う

◆目的

本調査事業では、

米国CDMプログラムをベースに調査環境を準備し、既存ツールや各種資産管理システムからのデータ収集、ダッシュボード上でのリスク可視化・診断、是正・緩和等の常時診断に関する機能面及び運用面での実現性の検証を行い、日本の政府機関で導入する際の課題や留意事項、運用方法等についての考察を行うことを目的とする。

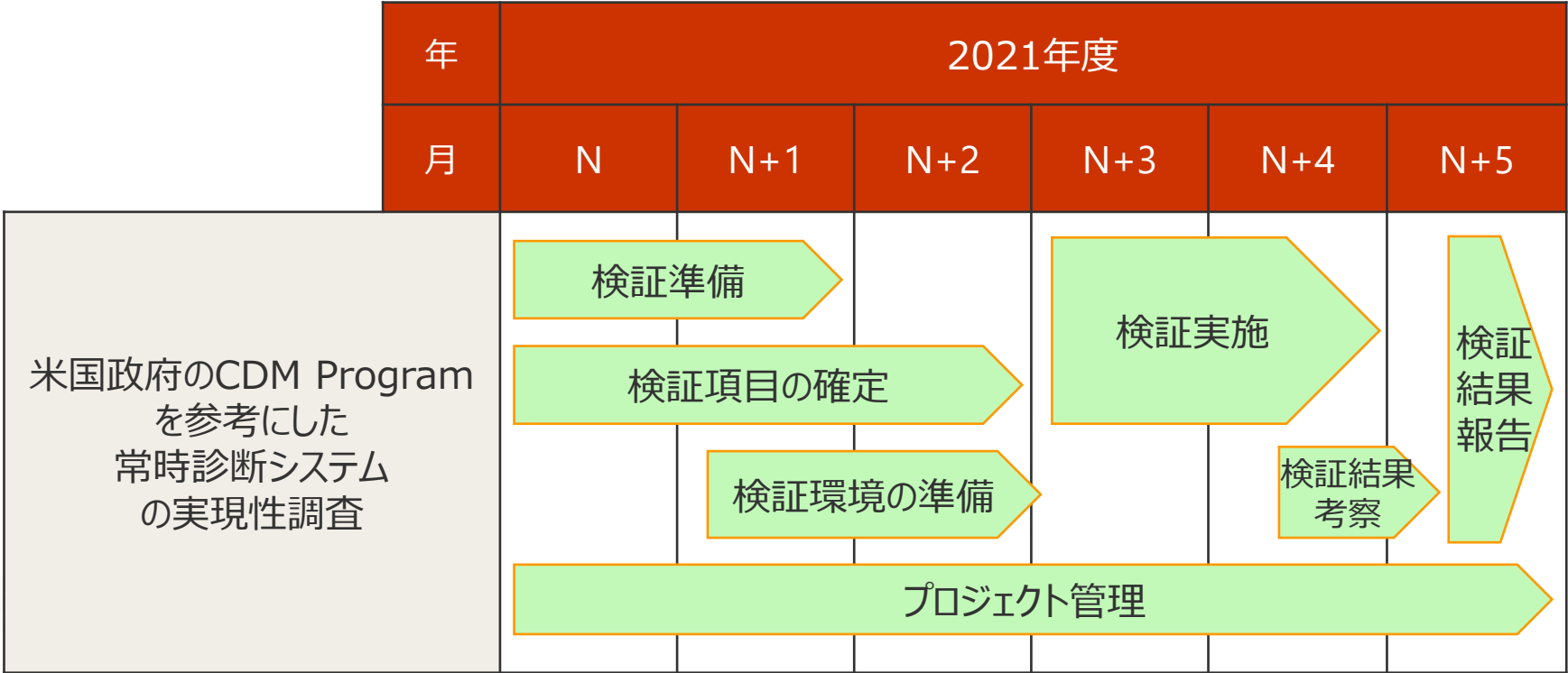
委託作業内容



◆委託作業内容（全体）

想定スケジュール

- 1. 検証準備
- 2. 検証項目の確定
- 3. 検証環境の準備
- 4. 検証実施
- 5. 検証結果考察
- 6. 検証結果報告



仕様書の要件を満たす範囲内で、より合理的なスケジュールが提案できる場合、このスケジュール案の変更は可とする

◆検証準備

1. 検証準備

- ① 統一基準に基づき自組織の情報を活用し検証する場合のルールの整理
 - ・ 政府機関や独立行政法人等が参照すべき「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準」準拠に必要な対応およびその手順化方針を検討し、ルールを整理する
(整理したルールに基づき検証を実施する)
- ② データ項目の確定
 - ・ 各Dashboard に表示する項目とそれに必要となる収集するデータ項目及びを検討し承認を得る
 - ・ 「データ定義書」を作成し、提出する
- ③ リスクスコアリング方法の確定
 - ・ 米国CDMのAWAREの考え方をもとに、日本で導入する際のスコアリング方法を検討し承認を得る
 - ・ 「リスクスコアリング定義書」を作成し、提出する

2. 検証項目の確定
3. 検証環境の構築
4. 検証実施
5. 検証結果考察
6. 検証結果報告

◆ 検証項目の確定

1. 検証準備
2. 検証項目の確定
 - ① 実機検証項目
 - ・仕様書に記載した優先度「高」のCapabilityは実機検証を必須とする
 - ・実機検証項目を検討し、承認を得る
 - ・「実機検証仕様書」を作成し提出する
 - ② 机上検証項目
 - ・リスクの是正措置に関しての運用フロー案を作成する
 - ・机上検証項目を検討し、運用フロー案とともに承認を得る
 - ・「机上検証仕様書」を作成し、提出する
3. 検証環境の構築
4. 検証実施
5. 検証結果考察
6. 検証結果報告

◆ 検証環境の準備

1. 検証準備
2. 検証項目の確定
3. 検証環境の準備
 - 実運用を通じた検証・課題抽出を行うため、実際に業務に利用している実環境上で検証を行うこと
 - 「検証作業の要件」を参照し検証環境の構成を検討し、承認を得る
 - 「検証環境定義書」を作成し、承認の上、提出する
 - 検証作業環境を準備する
4. 検証実施
5. 検証結果考察
6. 検証結果報告

◆検証実施

1. 検証準備
2. 検証項目の確定
3. 検証環境の構築
4. 検証実施
 - ① 実機検証
 - ・「実機検証仕様書」にしたがって検証を行う
 - ② 机上検証
 - ・「机上検証仕様書」にしたがって検証を行う
 - ・机上検証では、複数人の机上検証実施者が実際のDashboard の表示内容と「運用フロー案」を見ながら、是正処置運用のウォークスルーを行い、問題なく運用可能か検証し、課題・問題点を抽出した上で、運用フロー案の修正を行う
5. 検証結果考察
6. 検証結果報告

◆検証結果考察

1. 検証準備
2. 検証項目の確定
3. 検証環境の構築
4. 検証実施

5. 検証結果考察

- 本検証結果および日本の政府機関で導入する際の課題や留意事項等について、以下の観点について考察を行う
 - ✓ Federal Dashboard の表示項目
 - ✓ Agency Dashboard の表示項目
 - ✓ 各ダッシュボードを利用した是正処置の運用フロー、運用頻度
 - ✓ ダッシュボード間のデータ連携
 - ✓ リスクスコアリング方法
 - ✓ その他追加考察事項

6. 検証結果報告

◆検証結果報告

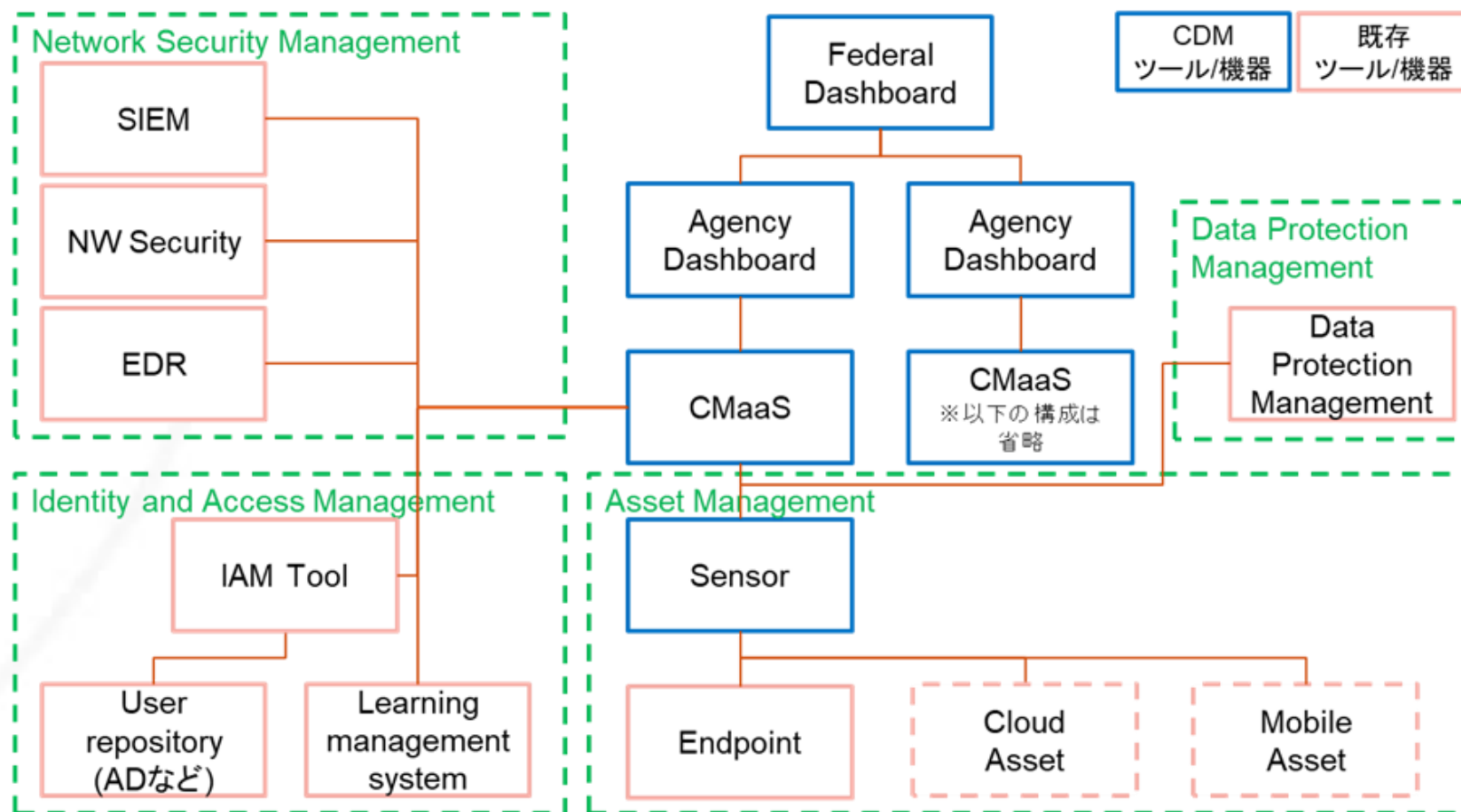
1. 検証準備
2. 検証項目の確定
3. 検証環境の構築
4. 検証実施
5. 検証結果考察
6. 検証結果報告
 - 調査報告書を作成し提出する

委託作業内容の詳細については、仕様書をご参照ください

検証作業の要件

◆検証環境の要件

- 実環境（提案者が実際に業務に利用している環境）に、検証作業を実施可能なCDMの管理・運用に必要なハードウェア・ソフトウェアの検証環境を準備する。
- 既存ツール機器に関しては、既に構築されている場合は、新規導入は行わず、構築済みのツール機器で代替することを原則とする。



* Endpointに関しては、PC、サーバー（オンプレ、クラウド）、モバイルPC、複合機、ネットワーク機器（ファイアウォール、スイッチ、ルーターなど）を想定（詳細は、仕様書を参照）

◆CDMツール、機器の要件

- 以下の情報（米国CDMプログラムで利用可能な認定済み製品リスト等）を参考として、検証に利用するツールおよび機器の選定を行うこと
 - 参考文献3. Tools Special Item Number(Tools SIN)
 - 参考文献4. Approved Products List(APL)
 - 参考文献7. Privacy Impact Assessment for the Continuous Monitoring as a Service (CMaaS)」
- 仕様書に記載された要件を考慮し検証環境を準備すること

検証作業の要件の詳細については、仕様書をご参照ください

- NEDO本公募ページから必要な書類をダウンロードし、web入力フォームから必要情報を入力し、提案書類および関連資料をアップロードしてください。
ほかの方法（持参・郵送・FAX・メール等）による応募は受け付けません。

本公募ページ：

https://www.nedo.go.jp/koubo/IT2_100190.html

Web入力フォーム：

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/9u5z96enhktf>

受付期間：2021年6月1日（火）から2021年6月30日（水）正午

Web 入力フォームで以下の①～⑯を入力いただき、⑰に提出資料をアップロードしてください。
アップロードファイル名は、半角英数字とし、アップロードするファイル提出書類毎に作成し、全
てPDF 形式で、一つのzip ファイルにまとめてください。

提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。再提出の場
合は、再度、全資料を再提出してください。

提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。

■ 入力項目

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ①調査名 | ⑩提案額 |
| ②代表法人番号（13桁） | ⑪調査の体制 |
| ③代表法人名称 | ⑫技術的ポイント |
| ④代表法人連絡担当者氏名 | ⑬代表法人業務管理者 |
| ⑤代表法人連絡担当者職名 | ⑭共同提案法人名・業務管理者名（複数の場合は、列記） |
| ⑥代表法人連絡担当者所属部署 | ⑮利害関係者 |
| ⑦代表法人連絡担当者所属住所 | ⑯初回の申請受付番号（再提出の場合のみ） |
| ⑧代表法人連絡担当者電話番号 | ⑰提出書類のアップロード(次ページ) |
| ⑨代表法人連絡担当者Eメールアドレス | |

【補足】

提案書への押印が提出期限
までに完了しない場合、全
法人または一部法人が未押
印の提案書も受け付けるこ
ととします。
ただし、後日押印したもの
の提出を求めます。

◆アップロードする提出書類

1. 提案書
提案書の様式（別紙1）を参照し日本語で作成
2. 会社案内（NEDOと過去1年以内に契約がある場合を除く）
会社経歴書、事業部・研究所等の組織等に関する説明書など
3. 直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）
4. NEDO事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票及び対応エビデンス（別紙2）
5. その他
 - ① 以下の標準契約書に合意することが提案の要件となりますが、契約書（案）について疑義がある場合は、その内容を示す文書1部を添付してください。
調査委託契約標準契約書 <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>
 - ② 提案書類は、日本語で作成していただきますが、提案者が外国企業等であって、提案書類を日本語以外の言語で作成し、日本語に翻訳したものである場合は、参考としてその原文の写しを添付してください

応募に関する問い合わせ先

応募に関する質問等は**6月25日（金）**まで**電子メール**で受け付けます。
ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

問い合わせ先

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

IoT推進部 山岡、工藤

メールアドレス：cip@ml.nedo.go.jp

スケジュール



2021年

公募期間：	6月1日（火）～6月30日(金) 正午
審査期間（予定）：	7月中旬～8月上旬
採択先決定（予定）：	8月中旬（採択通知後事業開始可能）
契約（予定）：	9月中旬

提案にあたっての留意事項



◆検証環境の準備について

1. 本事業は事業期間が約6ヶ月と短期間のため、経済合理性等の観点から、検証にあたり新規導入が必要となる10万円以上（消費税込み）のハードウェア及びソフトウェアは、クラウド、サブスクリプション、レンタル等で調達することとします。
事業期間中のこれらの利用料（借料）は委託費用に含めることができます。

委託費用として積算可能な費用の詳細については、<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html> ページ内の
6. 調査委託契約標準契約書（約款、様式及び別表）にある (4) 調査委託費積算基準をご参照ください。

2. 提案者の実運用環境上に検証環境を準備する事になりますので、必要な社内調整（システム管理部門への確認など）を行った上で提案書の提出をお願いします。なお、検証作業中に実業務に影響を及ぼすような不具合が発生した場合は、提案者側ですべての対応を行って頂くことになりますのでご了承ください。

◆その他

1. 詳細については、公募要領をご参照ください。